



Pandora FMS と SMS ゲートウェイ のインストールと設定



URL: <https://pandorafms.com/manual/!current/>

Permanent link:

https://pandorafms.com/manual/!current/ja/documentation/pandorafms/technical_annexes/02_pandorafms_sms_gateway

2024/10/03 18:59



Pandora FMS と SMS ゲートウェイのインストールと設定

[Pandora FMS ドキュメント一覧に戻る](#)

GSM デバイスについて

シリアルポート (USB) 経由で SMS を送信するには、特別な GSM デバイスを使用します。同様の別の GSM モデル、または USB またはシリアル接続を備えた携帯電話を使用できます。ここで使用するデバイスは MTX 65 v3 です。これは非常に小型で GNU/Linux と互換性のあるデバイスで、信号範囲を広げるための外部 GSM アンテナなどのさまざまなオプション コンポーネントを備えています。

デバイスのインストール

最初にハードウェアの設定を行います。このデバイスにはいくつかのパーツがあります。

- 小さいコネクタの通常の USB ケーブル
- 電源アダプタ (この例ではヨーロッパの 220v のものです。あまりかであれば 110v のものが必要です。)
- SIM カード
- Pandora FMS の SMS ゲートウェイデバイス

手順:

- Pandora FMS の SMS ゲートウェイデバイスを開きます。
- SIM カードを挿します。
- 電源を接続し、SMS ゲートウェイデバイスに USB ケーブルを接続します。
- それを Pandora FMS サーバの USB ポートに接続します。
- サーバへデバイスを接続して数秒したら、コマンドラインから `dmesg` を実行します。次のような画面が表示されます。

```
[ 22.814094] pci 0000:00:02.0: irq 2298 for MSI/MSI-X
[ 22.814180] [drm] Initialized i915 1.6.0 20080730 on minor 0
[ 24.688037] [drm:i915_setparam] *ERROR* unknown parameter 4
[ 27.212863] tg3 0000:09:00.0: irq 2297 for MSI/MSI-X
[ 27.265652] /dev/vmnet: open called by PID 2716 (vmnet-bridge)
[ 27.265663] /dev/vmnet: hub 0 does not exist, allocating memory.
[ 27.265672] /dev/vmnet: port on hub 0 successfully opened
[ 27.265692] bridge-eth0: up
[ 27.266040] ADDRCONF(NETDEV_UP): eth0: link is not ready
[ 27.266055] bridge-eth0: attached
[ 27.273643] bridge-eth0: disabling the bridge
[ 27.275862] bridge-eth0: down
[ 27.275917] bridge-eth0: detached
[ 28.725052] vmnet1: no IPv6 routers present
[ 28.916037] vmnet2: no IPv6 routers present
[ 32.205041] eth1: no IPv6 routers present
[ 91.000154] Clocksource tsc unstable (delta = -183026827 ns)
[ 154.992861] Bluetooth: HIDP (Human Interface Emulation) ver 1.2
[ 154.995497] input: Dell BT Travel Mouse as /devices/pci0000:00/0000:00:1a.0/usb3/3-2/3-2.1/3-2.1.0/bluetooth/hci0/hci0:11/input12
[ 155.006505] generic-bluetooth 0005:0460:B006.0003: input,hidraw2: BLUETOOTH HID v1.24 Mouse [Dell BT Travel Mouse] on 00:1F:3A:D6:6F:7C
[ 1124.784176] usb 5-1: new full speed USB device using uhci_hcd and address 2
[ 1124.978913] usb 5-1: configuration #1 chosen from 1 choice
[ 1125.079813] cdc_acm 5-1:1.0: ttyACM0: USB ACM device
[ 1125.082273] usbcore: registered new interface driver cdc_acm
[ 1125.082281] cdc_acm: v0.26:USB Abstract Control Model driver for USB modems and ISDN adapters
```

これは、デバイスを kernel が /dev/ttyACM0 として認識し、利用できるようになったことを示します。

うまくいってない場合は、次の手順を確認してください。

- デバイスが接続され LED が緑で点滅しているかどうか。
- デバイスが USB ポートに接続されているか。一方が SMS デバイス、他方が Pandora FMS サーバになっているか。
- デバイスに SIM カードが正しく挿入されているかどうか。

新たなデバイスを利用するための SMSTools の設定

このデバイスは、SMSTools というソフトウェアパッケージによって管理されます。選択した GNU/Linux ディストリビューションによって提供されるパッケージを使用して SMSTools をインストールするか PFMS によって提供される RPM パッケージ (*Red Hat Package Manager* または *RPM Package Manager*) を使用できます。

RPM を利用しているシステム

PFMS が提供する RPM を使用するには、次のコマンドでインストールするだけです。

```
rpm -i smstools*.rpm
```

SMStools の設定

ユーザ root または同等の権限で、テキストエディタ (ここでは Vi) を使用して基本設定ファイルを編集します。

```
vi /etc/smsd.conf
```

以下の内容を追加する必要があります (dmesg コマンドの出力または結果が ttyACM0 と異なる場合は、システムによって検出された デバイス tty を使用します):

`/etc/smsd.conf`

```
# Example smsd.conf. Read the manual for a description

devices = GSM1
logfile = /var/log/smsd.log
loglevel = 10

[GSM1]
device = /dev/ttyACM0
incoming = no
pin =
```

最後の行に、使用する SIM に割り当てられた PIN を入力します。

そして、smstools を手動で起動します。

```
/usr/bin/smstools start
```

これで、root 以外のユーザでテスト SMS を送信できます (34 はスペインの国際コードです。アスタリスクにテスト電話番号を入力してください)。

```
sendsms 34***** "Pandora FMS rocks"
```

1分ほど待った後、ログを監視してすべてが正しいことを確認します。SMS は数秒以内に受信されるはずですが、ネットワークによっては、最初の SMS は 10 ~ 20 秒ごとにチェックされ、次の SMS はほぼ即時に受信されるはずですが、SMStools はキューを使用してメッセージを送信するため、必要な数のメッセージを送信できます。そして、携帯電話ネットワークが処理できるときにメッセージがブロードキャストされます。

ログの確認:

```
cat /var/log/smsd.log
```

最後に、今後のために次の対応をしておきます。

1. 過度に大きくて不要な ログファイルを回避するには、`/etc/smsd.conf` の `loglevel` に 1 を設定します。
2. システムの再起動時に `smsd` が自動的に起動するように設定されていることを確認してください (これは、`/etc/init.d/sms` から `/etc/rc2.d/S90sms` または `/etc/rc.d/rc2.d/S90sms` へのリンクを意味します)。パッケージからインストールした場合は、おそらく既にシステム上に存在しているので、確認するだけです。

Pandora FMS アラートの設定

より詳細は、“[Pandora FMS アラートシステム](#)” を参照してください。

- 最初にアラートコマンドを作成します。

Configure alert command

Alerts

Name	Group
SMS	All
Command	Description
<code>/usr/bin/sendsms_field1_field2_</code>	This command sends a SMS using Pandora FMS SMS gateway attached to USB port in the PFMS server.

Create ✓

- そして、アラートアクションを作成します。

Configure alert action

Alerts

Name	Group
<input type="text" value="SMS to admin"/>	<input type="text" value="All"/>
Command	Threshold
<input type="text" value="SMS"/>	<input type="text" value="5 minutes"/>
Create Command <input type="button" value="⊕"/>	<input type="button" value="✎"/>
Send SMS using the standard SMS device, using smstools. Uses field2 as text message, field1 as destination phone (include international prefix!)	

アクションをアラートテンプレートを使ってモジュールに割り当てます。この場合、モジュールが障害状態になったときに実行されるアラートテンプレートです。

[Pandora FMS ドキュメント一覧に戻る](#)